

クランクシャフトサポートアダプター 取扱説明書

製品番号 01-10-0148

適応車種	モンキー・ゴリラ (Z50J-2000001 ~ 2699999)
	(AB27-1000001 ~ 1899999)
	CRF50F (AE03-1400001 ~)
	XR50R (AE03-1000001 ~)
適応条件	上記車両にて、ノーマルフライホイールまたは、弊社製スーパーストリートアウターローター装着車 ※弊社製コンプリートエンジンについては、取り付け出来ません。

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付けには、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
- ◎当製品の取り付けにはローターホルダー（弊社製品番：00-01-1001）等のほか、ディーブソケット17mmが必要です。
- ◎クランクシャフトに標準値以上に振れが発生している場合は振れ取り作業を行うか、クランクシャフトの交換を行った後に取り付けして下さい。
- ◎当製品は、弊社製3点支持クランクシャフト各種には使用出来ません。また、当製品のジェネレーターカバーは弊社3点支持クランクシャフト各種に付属のものや、アルミジェネレーターカバー（品番：05-02-0011AL）とは異なり、専用です。相互の互換性はありません。

～特徴～

- クランクシャフト末端に取り付けられるフライホイールは非常に重たく、シャフト部分には、ねじれやたわみ等の負担が掛かります。エンジンの高回転化・高出力化に伴い更にこの負担は増大し、過酷な状況となり、場合によってはクランクシャフトの破損＝エンジン自体の破損を招きかねません。当製品はクランクシャフトフライホイール側末端にボールベアリングによる支持を増やすことにより、シャフトのたわみを抑え、クランクシャフトを高回転までスムーズに回転させることが出来、耐久性を高めることが可能です（特許出願中）。振動が抑えられ、実質的にエンジンの機械的性能が向上しますので、ライトチューニングからハイチューニングまで幅広く有効な製品です。
- クランクシャフトの交換等の大掛かりな作業を必要とせず、ご使用中のクランクシャフトに簡単な取り付け作業によってご使用頂けます。ノーマルクランクシャフトはもちろん、弊社製のクランクシャフト（3点支持除く）に対応します。
- 付属のジェネレーターカバーはアルミニウムダイカスト製です。表面にシルバー塗装を実施しております。カバー中心部にはアルミ削り出しカバーキャップを設けております。カバーを装着したまま、ドライブsprocket交換が可能です。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。（トラブルの原因となります。）

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。（幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	シャフトナット	1	00-00-0898
2	スプリングワッシャ	1	00-00-0690 (3ヶ入り)
3	ジェネレーターカバー COMP.	1	
4	フランジボルト 6x32	1	00-00-0884 (5ヶ入り)
5	フランジボルト 6x35	2	00-00-0885 (5ヶ入り)
	焼き付き防止剤 (5g)	1	08-02-0042

番号	部品名	リペア品番
A	ジェネレーターカバー COMP. 内蔵ベアリング	00-00-0691
B	ジェネレーターカバーキャップ	00-00-2298

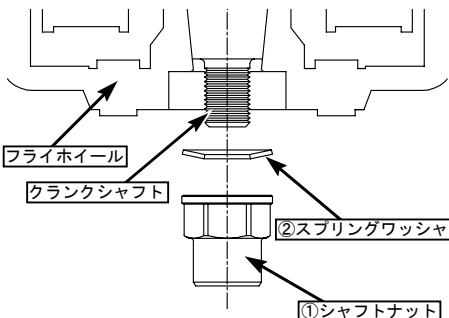
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にて
 ご注文下さいませお願い致します。
 ※A、Bは③に含まれています。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

- メンテナンススタンドを使用し、車両を安定させる。
- チェンジペダル及びノーマルステップを純正サービスマニュアルを参照し、取り外す。
 ※バックステップ装着車両の場合、弊社製であっても、チェンジアーム部と③ジェネレーターカバー COMP. とのクリアランスを確認する。干渉する場合はロッドエンドやボルトの取り付け方向を変更する等により対処する。
- 純正サービスマニュアルを参照し、L. クランクケースカバーを取り外す。
- ローターホルダー等にてフライホイールを固定し、ノーマルのフライホイールナットとワッシャを取り外す。



- ②スプリングワッシャと①シャフトナットを取り付ける。
- ※②スプリングワッシャは下図の方向にて取り付け。



※①シャフトナットはディープソケット 17mm を使用し、締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 シャフトナット
 トルク：40N・m (4.0kgf・m)

- 付属の焼き付き防止剤をシャフト部に塗布する。



- ①シャフトナットにベアリングを差し込みながら③ジェネレーターカバー COMP. をセットし、④フランジボルト 6x32 1本、⑤フランジボルト 6x35 2本にて取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
 各フランジボルト
 トルク：10N・m (1.0kgf・m)



- 純正サービスマニュアルを参照し、ノーマルステップ及びチェンジペダルを取り付ける。バックステップ装着車両の場合は、チェンジアームをシフトスピンドルに取り付ける。
- 風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し、エンジンからの異音が無い事を確認する。ネジやナット等の緩みが無いが再度点検する。

▲警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

☆注意☆

- ジェネレーターカバーを取り外す時は、必ず冷間時に行なって下さい。温間時にジェネレーターカバーを取り外すと、ジェネレーターカバーが外れない場合があり、無理に外そうとすると、熱膨張率の差でベアリングがジェネレーターカバーから外れる恐れがあります。外れたベアリングは、ジェネレーターカバーが冷えるとジェネレーターカバーに入らなくなり、圧入する必要があります。取り外し時にご注意下さい。
- ジェネレーターカバーを取り外した際は、シャフトナット先端のシャフト部に焼き付き防止剤を塗布して下さい。焼き付き防止剤は焼き付き防止の他、防錆効果もあります。